

広島県車いすテニス協会 沿革

2003年 9月作成

- 1989年 広島県内の各車いすテニスクラブを統合するとともに、車いすテニス競技の健全な普及と発展を促進し、車いすテニスを通じて身体障害者の体力の向上とともに、社会人としての健全な精神の育成を目指すために発足した。
- 1990年 3月 全国車いすテニス大会を開催するための実行委員会を設立
- 1990年 9月 第1回平和カップイン広島 全国車いすテニス大会 開催
- 1993年 3月 第1回車いすテニス講習会を開催
- 1994年 3月 第2回車いすテニス講習会を開催
- 4月 国際大会に向けて、台湾・シンガポールに講習会の開催を打診するため、会長が該当国に訪問する。
- 9月 シンガポール・台湾にて、車いすテニス講習会を開催
- 10月 第5回平和カップイン広島を、広域公園テニスコートに会場を移し、国際交流車いすテニス大会として記念大会を開催。
シンガポール、台湾から役員・選手計5名を招待。
- 1995年 9月 徳島県にて、日本車いすテニス協会と共催で初心者講習会を開催
- 1996年 2月 鳥取県にて、車いすテニス初心者講習会を開催
- 10月 シンガポール障害者スポーツ協会と当協会とが、シンガポール現地にて交流講習会を開催
- 10月 全国身体障害者スポーツ大会（広島国体）にて、オープン競技にて車いすテニス大会（中四国地域団体戦）を開催
- 2002年11月 平和カップイン広島・国際交流車いすテニス大会が13回目を迎え、これまでの実績が結びつき、国際テニス連盟（ITF）より世界車いすテニスツアー・チャンピオンシップシリーズ3の承認を受け、名称も *Peace Cup* と変更し、国際大会の仲間入りとなった。

2003年 4月現在

会員数：48名 顧問4名、賛助会員11名 合計63名

趣旨・目的

車いすテニスを通じ身体障害者と健常者及び、身体障害者相互の理解を深め、技術、精神力の向上を図るとともに、社会参加に対する意欲を大いに喚起し、平和都市広島から世界に平和と友好の和を広げることを目的とする。

この大会は、平和都市広島で毎年開催を行っており、アジア諸国をはじめ、カナダ、アメリカ、オーストラリアなどから選手・役員も多く参加しています。

広島県車いすテニス協会では、県内の車椅子テニス講習会を開き普及に勤め、さらに中国・四国地区そしてアジア地域の車椅子テニス発展事業に寄与して来ました。

障害者スポーツの昨今は、見て、行って、楽しんで。レクリエーションから、競技スポーツまで、障害のある人々が選択してスポーツを楽しむ時代となってきました。その人々の力は、社会が混沌とする中、人々に感動と勇気を与えることができるものといえます。

中でも車いすテニスは世界各国盛んに行われており、また、老若男女問わず初心者からトップ選手まで参加できる大会として、この*Peace Cup*車いすテニス国際大会は、広島市民へ、あるいは世界の人々へのメッセージを与えるべく継続して運営していくことを強く望まれています、周りからのその要望も出ています。

また、高齢化社会にあっても健全で元気なことが大きく世の中に寄与出来る物と確信しています。

実施場所(地域等)及び対象者数

毎年多くのボランティアにも支えられている国内でも評価の高い大会である。4日間のボランティア数は延べ約900名。選手・コーチ等は、約230名。が平和都市広島に集う。選手は、国内はもとより、海外においては、韓国・台湾・マレーシア、そしてカナダから国際大会にふさわしい参加を得て来ました。

競技会場

広島広域公園テニスコート（広島市安佐南区沼田町大塚）広島アジア大会・テニス競技が開催された場所であり、車いすテニスにおいても同年より、国際大会として開催しています。